

第 26 回 環境情報科学センター賞

< 学術論文奨励賞 >

受賞者：糸井 風音

(筑波大学理工情報生命学術院システム情報工学研究群社会工学
学位プログラム博士後期)

対象業績：「日本・マレーシアにおける環境配慮行動の規定因に関する
環境心理学研究」



【選考理由】

受賞者によるマレーシアと日本を対象とした廃棄物問題（ポイ捨て、プラスチック汚染）に対する認識・行動および、その背景を比較分析した一連の研究は、国際比較による一般的な類似点と文化的（教育、宗教など）な背景による相違点を明らかにしようとする試みであり、貴重な環境情報科学的な示唆を与えている。特に因子分析により抽出した「信仰的環境観」と「文化的環境観」を外生変数とする共分散構造分析の結果は、基本的な環境観によりプラスチック汚染緩和行動が実践されることを半定量的に示しており、説得力があるとともに極めて興味深い。とりわけ西洋文化圏以外では十分に扱われてこなかった信仰という心理・社会的要因に着目し、その影響メカニズムを実証的に解明した点で高く評価される。

以上の様に、受賞者の一連の研究は、日本・マレーシアの両国における環境配慮行動の規定因に対する環境心理学的研究として独創性、完成度に優れており、信頼度、将来性も高いと考えられる。よってこの研究は学術論文奨励賞にふさわしいものであると判断された。

< 対象論文 >

- ① 路上ポイ捨ての理由と解決方策に関する認識比較分析：日本・マレーシア大学生を対象に（環境情報科学論文集 36, pp.256-261, 2022 年）
- ② Relevance of faith and its positive associations with plastic pollution mitigation behaviors: Findings from Japan and Malaysia (Journal of Environmental Information Science, 2024(1), 23-34, 2024)
- ③ 信仰と文化にもとづく環境観とプラスチック汚染緩和行動の関係性：マレーシアを対象に（環境情報科学論文集, 39, 2025 年 11 月 5 日受理）